

# 平成30(2018)年度 公益財団法人栃木県体育協会事業報告書

## 基本方針

県民のスポーツ活動に対するニーズはますます増大し、かつ多様化しており、栃木県が策定した栃木県重点戦略「とちぎ元気発信プラン」の目指す将来像「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な“とちぎ”」の実現に向け、スポーツを通じた「健やかな人づくり」を進めるとともに、国体等の本県開催を見据えた「競技力向上」を図るために、各種事業を推進した。

平成30(2018)年度は、加盟団体をはじめ関係機関・団体との緊密な連携のもと、県民スポーツ大会の開催、スポーツ少年団の育成強化、総合型地域スポーツクラブの育成、スポーツ指導者の育成及びスポーツ国際交流等の諸事業を推進し、スポーツの普及と充実を図るとともに、国民体育大会等に参加する選手の育成・強化事業を推進した。

これらの諸事業を推進するための拠点施設として、今市青少年スポーツセンター・栃木県体育館の施設整備と適切な管理運営に努めた。

## 1 スポーツ振興事業

### (1) 各種大会開催事業

#### 栃木県民スポーツ大会の開催

「県民ひとり1スポーツ」の推進をスローガンとして、広く県民へのスポーツ振興を図り、生涯にわたり健康や体力の保持増進を図るとともに、明朗にして連帯感あふれた活力ある地域づくりに寄与することを目的として開催し、地方大会並びに中央大会の参加選手・役員は23,827名、観覧者は10,572名、計34,399名であった。

#### ① 地方大会（市町大会）

市町大会を中央大会の予選として、平成30(2018)年5月～8月にかけて開催し、16,722名が参加した。

#### ② 中央大会実施競技

対抗競技20競技、オープン競技5競技を29会場で開催し、7,105名が参加した。

第1日目 平成30(2018)年10月21日(日)水泳競技ほか16競技

第2日目 平成30(2018)年10月28日(日)バレーボール競技ほか12競技

#### ③ 総合表彰式

平成30(2018)年12月11日(火)スポーツ会館(会議室)において、総合優勝、総合準優勝、総合第3位、スポーツ奨励賞市町の表彰を行った。

### (2) スポーツ医・科学事業

スポーツの多様化・高度化及び活性化に対応するため、スポーツ医・科学委員会が理事会の諮問に応じスポーツ医科学に関する調査・研究活動を実施するとともに、スポーツ医・科学研修会等を開催し、適正なスポーツ指導を行った。

さらに、第77回とちぎ国体を視野に、各競技団体から推薦された有望選手のチームを対象に、県競技力向上対策本部からスポーツ医科学サポート事業を受託し、競技力の向上に努めた。

#### ア スポーツ医・科学委員会及び研究班員会の開催

① スポーツ医・科学委員会 3回(8月2日、11月16日、2月8日)

② ワーキンググループ会議 3回(7月12日、10月25日、2月12日)

③ 健康管理調査研究班員会 2回(8月23日、1月10日)

## イ 調査・研究活動

### ① 国体選手の健康管理調査

健康管理調査研究班員を中心に、国体に参加する選手を対象にメディカルチェックを実施し、日頃のトレーニングや大会参加中の事故防止に万全を期すると同時に、県内の(公財)日本スポーツ協会公認スポーツドクターとの連携を図った。

### ② 医科学分野をはじめとするメディカルサポート事業

一人でも多くの県民が豊かなスポーツライフを享受するため、医科学分野をはじめとした総合的なサポート事業を実施した。

### ③ スポーツ医・科学サポート事業

競技力の向上を目的に、医学・科学・栄養学・AT・心理学・社会学の専門家を希望する競技(延べ26チーム)に派遣した。

### ④ 国体選手を中心としたドーピング防止教育・啓発活動(健康管理調査研究班員会)

国体におけるドーピングコントロール実施に伴い、国体に参加する選手、監督及びコーチを対象に薬の乱用・誤用の認識を高めるため、研修会の開催や資料の配布等を通して健全なスポーツ活動の啓発を推進した。

## ウ スポーツ医科学情報の提供

ホームページ等を活用し、スポーツ医科学の情報提供に努めるとともに、スポーツ医科学サポート事業報告書を作成した。

## エ 女性アスリートサポート事業

第77回国民体育大会栃木県競技力向上対策本部から女性アスリートサポート事業の委託を受け、女性アスリート特有のスポーツ障害を予防し、競技力を向上させるために必要な各種測定、指導を実施した。

### ① 貧血検査等の実施

対象チームに対して、(公財)栃木県体育協会にて作成した検査項目を基に血液検査等を実施し、検査結果を基に、(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士の指導の下、予防、改善に努めた。

### ② アスレティックトレーナーの派遣

女性アスリート並びに競技特性によって起こりうる特有の障害を予防するために、(公財)日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーを派遣し、指導を行った。

## (3) 顕彰事業

本県体育・スポーツの振興に貢献し、その功績顕著な者及びスポーツ界で優秀な成績を収めた者に対し、その栄誉を称え表彰した。〔平成31(2019)年2月15日(金) 県公館〕

## ア スポーツ功労賞

地域職域等において、指導者等として永年にわたってスポーツの普及・発展に貢献した者、又は、加盟団体等の役員・指導者として振興・発展に貢献した者7名を表彰した。

## イ スポーツ優良団体賞

地域社会・職場職域等において、永年にわたってスポーツの普及・振興に貢献した5団体を表彰した。

## ウ スポーツ優秀選手賞

国際大会に出場及び日本選手権大会で優勝並びに国際大会で優秀な成績を残した選手20名を表彰した。

## エ 船田スポーツ賞

若手指導者として、国体、国際大会等で優秀な成績を収めた選手を育成し、今後も活躍が期待できる3名を表彰した。

オ 国民体育大会優秀団体・監督・選手感謝状

国民体育大会において、優秀な成績を収めた14競技団体の監督等26名及び選手111名に感謝状を贈呈した。

カ 栃木県中学校スポーツ最優秀賞（星功賞）

心身ともに健康な中学生を対象に各種スポーツ大会において優秀な成績を収め、本県中学校スポーツの振興に貢献のあった個人又は団体を、（公財）栃木県体育協会及び栃木県中学校体育連盟の連名で選手12名を表彰した。

(4) スポーツ指導者育成事業

本県スポーツの一層の振興を図るため、多様化・高度化した県民のニーズに応え、適切な指導のできる地域スポーツ指導者を育成した。

ア スポーツ指導員・上級指導員養成講習会の開催

① 指導員養成講習

地域住民のスポーツに対するニーズに対応し、地域スポーツクラブやスポーツ教室における個々人の年齢、競技レベルに応じた競技別の技術指導等にあたる公認の指導者の養成を目的とするスポーツ指導員養成講習会を開催し、専門科目において61名（バレーボール26名、弓道35名）が受講した。

② 上級指導員養成講習会

地域スポーツクラブ等が実施するスポーツ教室の指導や事業計画の立案などにおいて、クラブの中心的な役割を担うとともに、広域スポーツセンターや市町村エリアにおいて、競技別指導にあたる者の養成を目的とする上級指導員養成講習会であるが、平成30(2018)年度の実施希望がなく、開催していない。

イ スポーツ指導者研修会の開催

（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者及び本県のスポーツ指導者に対し、資質の向上と指導活動の充実を図ることを目的として平成30(2018)年7月1日（日）と平成31(2019)年2月3日（日）に開催し、県総合教育センターにおいて200名の参加者を得て実施した。

ウ （公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰

永年にわたり公認スポーツ指導者として、スポーツの指導育成及び組織化、競技力の向上、公認スポーツ指導者制度の発展その他国民スポーツの振興に貢献した者のうち、特に顕著な功績があった者を表彰し、その功に報いるとともに、今後における公認スポーツ指導者制度の一層の発展に資することを目的として実施されるものであり、平成30(2018)年度は県内指導者2名が受賞した。

(5) 広報事業

県民の理解と協力を得るため、本協会活動状況、主催事業等を積極的に広報するとともに、県内のスポーツ情報を収集し、広く県民に情報提供することに努めた。

ア 県体協だよりの発行

イ 体協アワー（栃木放送）による広報

ウ 栃木県体育館月報の発行

エ 今市青少年スポーツセンターパンフレットの発行

オ ホームページによる広報

カ その他新聞・放送等の媒体による広報

(6) スポーツ教室の開設

県民のスポーツに対する多様なニーズに応え、次のとおりスポーツ教室を開設した。

- スポーツ教室種目（4月～2月） 9講座 （参加者 延べ 6,333名）
- |                   |               |                 |
|-------------------|---------------|-----------------|
| ・ ZUMBA           | 1講座（通年：昼間）    | （参加者 延べ 2,081名） |
| ・ 健康ヨガ            | 1講座（通年：昼間）    | （参加者 延べ 1,471名） |
| ・ バレトン            | 1講座（通年：昼間）    | （参加者 延べ 746名）   |
| ・ 健康楽のリストレッチ      | 1講座（通年：昼間）    | （参加者 延べ 593名）   |
| ・ 太極拳             | 1講座（4～10月：夜間） | （参加者 延べ 292名）   |
| ・ 呼吸を感じるゆったりピラティス | 1講座（4～10月：夜間） | （参加者 延べ 610名）   |
| ・ キッズサマースクール      | 3講座（7～8月：昼間）  | （参加者 延べ 540名）   |
- 「とちぎの子ども元気塾」事業  
将来を担う子ども達に、様々な運動遊びを行い、身体を動かす楽しさを体験させ、子ども達の発育・発達に応じたスポーツの基礎づくりを行った。
- ・ 期間 6月～1月 全13回
  - ・ 種目 ユーティリティトレーニング・タグラグビー・アキアキチャイルドプログラム・バドミントン・親子サッカー・野球・ホッケー・水泳・クライミング・スポーツチャンバラ・スケート・ハンドボール・陸上・バスケットボール・保護者向け講習会（障害予防講習会・栄養講習会）
  - ・ 参加人数 延べ 445名

(7) 総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

創設支援クラブである1クラブに対し、創設に向けた育成支援を実施した。また、県内の総合型クラブに対し、現地ヒアリングを行い、情報交換等を行った。さらに、栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の運営の充実を図った。

ア クラブ設立・運営支援活動

- ① クラブアドバイザーを1名配置し、クラブ訪問等を通し運営の助言・指導を行った。
- ② 創設支援クラブ1クラブに現地ヒアリングの実施及び指導・助言を行い、平成30(2018)年11月に設立した。

イ 栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の運営

- ① 栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を2回（5月、2月）開催し、クラブ相互の情報交換やクラブ運営の研修を行った。
- ② 総合型SCフェスタ（スポーツイベント）を県内6地区において開催し、クラブ間交流及びスポーツ未実施者への啓発を図った。

ウ アシスタントマネジャー養成講習会

クラブ経営・運営の中心となるクラブマネジャーを養成することを目的に、県内外のスポーツクラブ指導者を対象とした本養成講習会を開催した（平成30(2018)年6月30日(土)、7月7日(土)）。さらに公認資格取得希望者については、全員が試験に合格した。

エ とちぎスポーツクラブセミナー

県内生涯スポーツ関係団体及びスポーツ行政団体を対象に、他団体間の連携・協働をテーマとしたセミナーを開催し、「スポーツ少年団と総合型SCとの連携」についての講義及び「障がい者と健常者の共同活動事例」についてのパネルディスカッションを行った（平成31(2019)年2月2日(土)）。

オ とちぎスポーツリーダーバンク

指導者を必要としている団体・個人の依頼を受けて、公益財団法人日本スポーツ協会公認資格指

導者を紹介する指導者紹介制度のもと、関係競技団体及び市町行政等と連携して周知・啓発を図り、指導者を派遣した。

## 2 スポーツ少年団育成事業

### (1) 市町スポーツ少年団の育成充実

スポーツ活動を通じて、次代を担う青少年の健康な身体と心を育てるとともに、全国的な子どもの体力低下に歯止めをかけるべく、体力向上に寄与した。また、地域社会における豊かな人間関係や連帯感を醸成するため、市町のスポーツ少年団指導者・団員の登録並びに母集団の育成強化を促進し、指導者・リーダーの養成及びスポーツ少年団活動の充実を図った。

#### ア 市町におけるスポーツ少年団組織の強化

市町スポーツ少年団組織の整備と充実強化を図るため、スポーツ少年団委員総会・指導者協議会等を開催するとともに日本スポーツ少年団及び各都道府県スポーツ少年団と連携強化に努めた。

#### イ 指導者・リーダーの養成

スポーツ少年団活動の充実を図るため、指導者及びリーダーの養成と資質の向上を目的とする講習会・研修会を開催するとともに、市町事業への助成と中央事業への派遣を実施した。

##### ① 講習会・研修会の開催

###### ○ 栃木県スポーツ少年団指導者研修大会

市町においてスポーツ少年団の育成・指導にあたっている単位団指導者・市町事務担当者・指導者協議会委員・保護者を対象に、スポーツ少年団育成に係る諸問題の把握と指導者の資質向上を図ることを目的として開催した。なお、研修会に先立ち、日本スポーツ少年団表彰伝達式及び県スポーツ少年団表彰状授与式を行った。

〔平成30(2018)年11月23日(祝・金) 今市青少年スポーツセンターで実施283名が参加した。〕

###### ○ 栃木県スポーツ少年団認定員再研修会

再研修義務化に伴い本研修会が認定員資格保持のための義務対象研修となり、認定員の資質の向上並びに団活動の充実を図るため開催した。

〔平成31(2019)年1月27日(日) 県総合教育センターで実施466名が参加した。〕

###### ○ ジュニア・リーダースクール

スポーツ少年団で中核となるリーダーの養成を図り、将来におけるシニアリーダー、指導者を育成することを目的として開催し、栃木県4名、宇都宮市44名、鹿沼市57名、那珂川町2名、佐野市40名、矢板市6名の合計153名を認定した。

###### ○ リーダーズクラブ研修会

スポーツ少年団のリーダーとしての資質の向上、会員相互による情報の交換及び親睦を図ることを目的として、1泊2日の合宿研修を含め4回の研修会を開催した。

〔延べ30名参加 このうち1泊2日の合宿研修を1回実施した。〕

##### ② 認定員養成講習会事業の開催

各单位団においてスポーツ少年団の育成指導にあたる「スポーツ少年団認定員」の養成を目的として、「日本スポーツ少年団指導者制度」に基づくスポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会を開催し、県内10コース842名が参加した。

③ 中央事業への派遣

○ 日本スポーツ少年団認定育成員研修会（関東ブロック）

スポーツ少年団認定育成員で、認定期間を4ヶ年経過する者に対し「日本スポーツ少年団指導者制度」に基づく更新認定研修会に、該当する育成員10名を派遣した。

○ シニア・リーダースクール

スポーツ少年団リーダーの資質向上を図るとともに、将来における指導者の養成を目的としたリーダースクール（平成30(2018)年8月9日（木）～13日（月）静岡県国立中央青年の家にて開催）に3名の団員を派遣した。

(2) 全国・関東スポーツ少年大会・スポーツ少年団競技別交流大会等への派遣事業

全国または関東大会等に代表者を派遣し、様々な交流活動により各参加者の資質の向上を図った。

ア 第56回全国スポーツ少年大会

期 日：平成30(2018)年8月2日（木）～ 5日（日）

会 場：茨城県

〔指導者1名、団員5名を派遣した。〕

イ 全国スポーツ少年団競技別交流大会（バレーボール・剣道）

① バレーボール 期 日：平成31(2019)年3月28日（木）～31日（日）

会 場：大分県

県代表：女子 サンダース〔宇都宮市スポーツ少年団〕

② 剣 道 期 日：平成31(2019)年3月27日（水）～29日（金）

会 場：山口県

県代表：団体戦5名〔那須塩原市スポーツ少年団〕

個人戦2名〔栃木市・下野市スポーツ少年団〕

ウ 平成30(2018)年度全国スポーツ少年団リーダー連絡会

期 日：平成30(2018)年6月16日（土）～ 17日（日）

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター

〔指導者1名、リーダー1名を派遣した。〕

エ 第37回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会

期 日：平成30(2018)年7月28日（土）～ 29日（日）

会 場：山梨県甲府市ほか

〔バレーボール・ミニバスケットボール・バドミントン・空手道の代表チームが参加した。〕

期 日：平成30(2018)年7月21日（土）～ 22日（日）

会 場：山梨県都留市ほか

〔軟式野球の代表チームが参加した。〕

オ 第49回関東ブロックスポーツ少年大会

期 日：平成30(2018)年8月10日（金）～ 12日（日）

会 場：群馬県

〔指導者1名、団員12名を派遣した。〕

カ 第17回関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会

期 日：平成30(2018)年10月20日（土）～ 21日（日）

会 場：栃木県

〔指導者1名、リーダー5名が参加した。〕

(3) 県競技別交流大会・交歓会の開催

ア 競技別交流大会

軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール・卓球・剣道・柔道・バドミントン・空手道の8競技について、各関係競技団体の協力を得て交流大会を開催し、3,521名の団員の参加があった。

イ 交歓会

市町の小学生団員の代表を対象とし、野外活動や文化活動による交流活動を通して、友情・自立・奉仕の精神を養い、地域における団活動の充実に資することを目的として開催した。

期 日：平成30(2018)年8月10日(金)～ 12日(日)

場 所：今市青少年スポーツセンター

[指導者8名、団員11名の参加があった。]

(4) スポーツ少年団国際交流事業

スポーツ少年団の発展を目的に世界的視野を持った将来のリーダーを育成するため、(公財)日本スポーツ協会が実施するスポーツ少年団リーダー等の海外派遣及び受入事業を実施した。

ア 第45回日独スポーツ少年団同時交流

派 遣

期 日：平成30(2018)年7月31日(火)～ 8月17日(金)

派遣先：ドイツ連邦共和国

派遣者：団員 柏熊 葵、渡邊 もも、吉澤 萌(鹿沼市)

受 入

期 日：平成30(2018)年7月26日(木)～ 7月30日(月)

受入先：芳賀郡(益子町、真岡市、茂木町、芳賀町、市貝町)

(5) 顕彰事業

永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある単位スポーツ少年団並びに指導・育成に貢献し功績のあった登録指導者等を表彰した。

[登録指導者表彰 5名、単位団表彰 5団、育成母集団表彰 3団]

### 3 競技力向上事業

国民体育大会において常に上位の成績を狙えるよう競技力の向上に努めるとともに、国際大会や全国大会等で活躍できる選手の育成を図るため、競技団体及び関係機関・団体との緊密な連携のもと各種事業の推進を図った。

(1) 国体選手等派遣事業

国民体育大会に、本県選手団を派遣し、併せて大会で活躍した選手等を奨励することにより、県内の競技力向上とスポーツ振興に寄与した。

(2) 選手育成強化運営事業

ア スポーツ医・科学委員会研究班員会の開催

健康管理調査研究班員会：国民体育大会における選手の健康管理調査を実施し、大会参加中の事故防止に努めた。ドーピング防止教育について理解を深めるとともに検査実施に戸惑いなく対応し、競技に専念できるように支援した。

イ 競技用具貸与支援

本協会が保有するヨット等の競技用具を競技団体に無償で貸与し、競技の普及・強化を図った。

## ※ 参 照 国民体育大会

### (1) 関東ブロック大会(茨城県開催)

#### ア 実施競技(32競技)

- 本大会競技 31競技
- 冬季競技 1競技

#### イ 中心会期

- 本大会 平成30(2018)年 8月17日(金)～ 19日(日)
- 冬季大会 平成30(2018)年12月 7日(金)～ 9日(日)
- 平成30(2018)年12月21日(金)～ 23日(日)

### (2) 国民体育大会

#### ア 第73回本大会(福井県)

平成30(2018)年 9月 9日(日)～ 17日(月)  
平成30(2018)年 9月29日(土)～10月 9日(火)

#### イ 第74回冬季大会

- スケート競技会(北海道) 平成31(2019)年 1月30日(水)～2月 3日(日)
- アイスホッケー競技会(北海道) 平成31(2019)年 1月30日(水)～2月 3日(日)
- スキー競技会(北海道) 平成31(2019)年 2月14日(木)～ 17日(日)

## 4 今市青少年スポーツセンター事業

スポーツを通じて青少年の健全育成と地域スポーツの振興、また、生涯スポーツの実践拠点並びに競技スポーツの拠点として、施設の有効活用と適正な管理運営を図った。

### (1) スポーツ推進事業

#### ア スポーツ教室の開設

##### 〈種 目〉

- ・ピラティス 2講座 (春、秋：一般男女対象) (参加者 延べ 1,399名)
- ・ヨガ 2講座 (春、秋：一般男女対象) (参加者 延べ 382名)

### (2) 施設無料開放

県民の日記念協賛事業として、各種スポーツ教室の無料体験及び施設を一般に無料開放した。

開 放 日：平成30(2018)年6月10日(日) 参加者：403名

- ・各施設の無料開放
- ・各種スポーツ無料体験

小学生ホッケーセミナー、ヨガ、ピラティス、ヴェルフェたかはら那須サッカー教室、  
チャレンジクライミング

### (3) 施設整備事業

施設利用者の安全と利用人員の増加を図るため、施設の保守整備・環境整備を実施した。

### (4) 日光市ホッケー場管理運営業務

日光市から委託を受け、日光市ホッケー場の管理及び運営業務を行った。

### (5) 宿泊者・外来者の利用促進

平成30(2018)年度利用者数

- ・宿泊利用者 7,500名
- ・施設利用者 74,214名



## 5 栃木県体育館等管理運営事業

本県体育スポーツの中核施設として、施設の適正な管理運営を図るとともに、スポーツ教室、各種イベント等の事業を開催し、本県体育スポーツの振興を図った。

### (1) 会議の開催

ア 栃木県体育施設協会理事会	平成30(2018)年	7月	6日(金)	本館大会議室
イ 栃木県体育施設協会理事会、研究協議会	平成30(2018)年	12月	6日(木)	公園事務所会議室
ウ 専用利用調整会議	平成31(2019)年	2月	4日(月)	武道館大会議室

### (2) スポーツ教室の開設(再掲)

県民のスポーツに対する多様なニーズに応え、次のとおりスポーツ教室を開設した。

○ スポーツ教室種目(4月~2月)	9講座	(参加者 延べ	6,333名)
・ ZUMBA	1講座(通年:昼間)	(参加者 延べ	2,081名)
・ 健康ヨガ	1講座(通年:昼間)	(参加者 延べ	1,471名)
・ バレトン	1講座(通年:昼間)	(参加者 延べ	746名)
・ 健康楽のリストレッチ	1講座(通年:昼間)	(参加者 延べ	593名)
・ 太極拳	1講座(4~10月:夜間)	(参加者 延べ	292名)
・ 呼吸を感じるゆったりピラティス	1講座(4~10月:夜間)	(参加者 延べ	610名)
・ キッズサマースクール	3講座(7~8月:昼間)	(参加者 延べ	540名)

### (3) 県民の日記念協賛事業(施設無料開放)

平成30(2018)年6月15日(金) 栃木県体育館内全施設 参加者 : 504名

### (4) 武道館協議会共催事業

ア 地域指導者研修会(合気道)	平成30(2018)年	11月	10日(土)~11日(日)	栃木県武道館
イ 地域指導者研修会(弓道)	平成30(2018)年	8月	20日(月)~21日(火)	栃木県武道館
ウ 地方青少年なぎなた錬成大会	平成30(2018)年	7月	7日(土)~8日(日)	栃木県武道館

### (5) 貸館業務(本館・別館・武道館・弓道場・プール館)

利用者延数	専用利用	130,270名
	普通利用	58,734名(専用・普通利用合計 189,004名)
	その他	10,986名(会議室 10,482名)
	合計	199,990名

### (6) 施設の点検整備

施設の利用者の安全と適正な管理運営を図るため、各施設の点検整備を行った。

ア 武道館二階観覧席ガラス修繕工事
イ 本館駐車場外縁修繕工事
ウ 本館玄関ガラス修繕工事
エ 本館内部屋根木毛板修繕工事
オ 弓道場再配線及び照明器具交換
カ 本館小便器自動洗浄部修繕
キ 武道館暖房用循環ポンプ交換
ク 本館・別館・武道館トイレ修繕
ケ 誘導灯器具取替

## 6 スポーツ安全協会委託業務

公益財団法人スポーツ安全協会から委託を受ける、スポーツ傷害等の団体保険に関する業務を行った。

## 7 協会運営

本協会の運営について、基本的事項を協議するとともに事業を遂行するため次のとおり、理事会を行った。

### (1) 理事会（5回）

#### 第1回理事会（平成30(2018)年6月1日）

- 協議事項 1. 平成29年度公益財団法人栃木県体育協会事業報告について 2. 平成29年度公益財団法人栃木県体育協会収支決算について 3. 顧問の推挙について 4. 栃木県スポーツ少年団本部長の承認について 5. 理事会が推薦する理事・監事について 6. 評議員選定委員会の外部委員の選任について
- 報告事項 1. 職務執行状況の報告について

#### 第2回理事会（平成30(2018)年6月29日）

- 協議事項 1. 理事長の選定について 2. 常務理事の選定について 3. 専門委員会等委員の選任について 4. 評議員選定委員会委員の選任について

#### 第3回理事会（平成31(2019)年1月18日）

- 協議事項 1. 平成30(2018)年度スポーツ顕彰について ①スポーツ功労賞 ②スポーツ優良団体賞 ③スポーツ優秀選手賞 ④船田スポーツ賞 ⑤国民体育大会優秀団体・監督・選手感謝状 2. 公益財団法人栃木県体育協会第2回評議員会の招集及び提出議題について
- 報告事項 1. 退任役員等に対する感謝状の贈呈について 2. とちぎスポーツフェスタ2018実施結果について 3. 第73回国民体育大会結果概況について 4. 評議員選定委員会の報告について 5. 栃木県体育館の次期指定管理者について 6. 第77回国民体育大会デモンストラティブスポーツ実施競技にかかる推薦について（第4次選定） 7. 栃木県体育協会名称変更アンケート結果について 8. 第77回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会開催受諾について 9. 職務執行状況の報告について

#### 臨時理事会（平成31(2019)年3月12日）

- 協議事項 1. 公益財団法人栃木県体育協会役員等報酬規程の改正等について 2. 理事候補者の推薦について
- 報告事項 1. 公益財団法人栃木県体育協会名称変更について

#### 第4回理事会（平成31(2019)年3月26日）

- 協議事項 1. 平成31(2019)年度公益財団法人栃木県体育協会事業計画について 2. 平成31(2019)年度公益財団法人栃木県体育協会収支予算について 3. 特定資産（栃の葉国体記念スポーツ振興基金）について 4. 理事長の選定について 5. 事務局長の任用について 6. 理事候補者の推薦について 7. 常勤役員に対する報酬等の支給額について 8. 本会理事の選任に伴う評議員会への文書提案について 9. 平成31(2019)年度公益財団法人栃木県体育協会第1回評議員会（定時評議員会）の招集及び提出議題について

### (2) 評議員会（2回）

#### 第1回評議員会（平成30(2018)年6月21日）

- 協議事項 1. 平成29年度公益財団法人栃木県体育協会事業報告について 2. 平成29年度公益

財団法人栃木県体育協会収支決算について 3. 顧問の推挙について 4. 役員の改選について（理事・監事） 5. 評議員候補者の推薦について

第2回評議員会（平成31（2019）年3月18日）

協議事項 1. 公益財団法人栃木県体育協会役員等報酬規程の改正等について 2. 理事の選任について

報告事項 1. 平成31（2019）年度公益財団法人栃木県体育協会事業計画について 2. 平成31（2019）年度公益財団法人栃木県体育協会収支予算について 3. 評議員選定委員会の報告について 4. 公益財団法人栃木県体育協会名称変更アンケート結果について 5. 公益財団法人栃木県体育協会名称変更について 6. 第77回国民体育大会デモンストラションスポーツ実施競技にかかる推薦について（第4次選定） 7. 第77回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会開催受諾について

(3) 専門委員会

ア 総務委員会（3回）

イ スポーツ医・科学委員会（3回）

ウ 競技力向上委員会（休止）

(4) 賛助会

県民総スポーツの振興が果す社会的役割と、これを推進する本協会の諸事業について県民各層の理解を得るとともに、事業実施に必要な資金を調達し財政確立を期するため、企業団体、加盟団体、個人会員等に働きかけ、賛助会員の加入促進を図った。〔 賛助会員231者、290口 〕

(5) 国際交流事業

ア 日韓スポーツ交流事業・地域交流推進事業として、栃木県バドミントン協会選手団を韓国へ派遣し、韓国ソフトテニス選手団を受け入れた。